



後輩たちの部活動に役立てて ～卒業生が同校体育後援会に寄付金

■桜山中学校の昭和39年度卒業生が10月6日、同校体育後援会（末野秀治会長）に5万円を寄付されました。寄付金は、同卒業生の約3割にあたる82人が参加した選届同窓会の会費から工面したもので、代表幹事の宮崎政美さん（写真右）が同校を訪れ、末野会長に寄付金が手渡されました。宮崎さんは「後輩たちに頑張ってもらうために援助したい」と語ると、末野会長は「後援会は会費で運営しており、寄付をいただくのは初めてのことで、大変ありがたい」と語っていました。



花渡川河口に「5大陸」 水の大切さを訴える 花渡川アートプロジェクト2008

■花渡川の河口付近で10月3日から3日間、世界の5大陸を模した5基のいかだを浮かべ、地球環境の大切さを訴えるアートパフォーマンスが行われました。これは、南さつま市のNPO法人エコ・リンクアソシエーションが主催。水をテーマにしたアートを手がける池田一さん（神奈川県相模原市）が中心となり、鹿児島水産高校生のほか、賛同した市民などにより行われたパフォーマンスです。約400本の竹を使って直径10mのいかだ5基を組み、その上に5大陸をかたどった合板を張り、杉の葉で森林もみ殻で砂漠を描写。それぞれに水産高校生たちの手のひらで水をすくう写真を付けた家を並べ、「水のリレー」を表現しました。花渡川で行われるのは3回目。来年は、これまでの取組みを本にまとめるということです。

同級生4人による作品展が大好評 ～お魚センターで「三七陶水会」が作品展を実施

■枕崎中学校昭和37年卒の同級生4人でつくる「三七陶水会」が10月11日から19日まで、お魚センター2階で作品展を開き、延べ400人もの人出で賑わいました。会は水墨画で日中水墨画合同展で経済産業大臣賞を受賞した中釜幹敬さん（左から2人目）をはじめ、陶芸作品などをつくる同級生で結成。作品展は、お魚センター2階の空きスペースを有効活用しようと企画したもので、水墨画や陶芸作品約600点が並び、訪れた観光客や同級生などが作品を鑑賞したり買い求めたりしていました。この作品展の収益の一部は、お魚センターに寄付されました。また、中釜さんの立神岩を描いた水墨画「立神」（写真）が市役所玄関に展示されています。



川に落ちた男性を4人が救助 ～枕崎警察署が感謝状を贈呈

■枕崎警察署が10月7日、雨で増水した尻無川に転落し助けがなくなっていた男性を救助した4人に、署長感謝状を贈りました。表彰されたのは、岩下エツさん（栄本町・前列右）岩下リツ子さん（同・前列左）と枕崎水産加工組合の松田光志さん（立神本町・後列右）、大園和寛さん（塩屋北町・後列左）。9月17日午後4時過ぎ、尻無川にかかる園田橋の下で、男性が大きな岩につかまって動けなくなっているのをエツさんリツ子さんが気づき、車で通りかかった大園さんと松田さんが引き揚げて無事助け出しました。



甲子園で活躍の2選手が結果報告 ～鹿児島実業野球部監督と市長表敬訪問

■夏の甲子園で活躍した枕崎中学校出身の鹿児島実業高校野球部の岩下圭選手と田野尻悠紀選手、宮下正一監督が10月17日、市長に甲子園の結果報告を行いました。宮下監督は、両選手の印象について「岩下君は投手として時間がかかるにしても必ずやってくれると思っていた。今年5月ぐらいから地力をつけ、頑張ってくれた。田野尻君も当初キャッチャーとして入ったが、努力をし内野手として成長した。甲子園の初戦、試合の流れを変えた無死満塁のタッチプレーは、キャッチャー経験者ならではのファインプレーだった」と語っていました。



▲左から宮下監督、田野尻選手、岩下選手。

防災関係機関が連携し、万々に備える ～市集団災害訓練及び薩摩半島南部地区排出油防除訓練

■平成20年度集団災害訓練が10月25日、枕崎漁港新外港で実施され、警察署や医師会、指宿海上保安署、消防組合など延べ178名が参加しました。この訓練は災害発生に際し、関係機関が緊密に連携を保ちながら迅速、適切に応急対策が行われる体制を確立しようとするものです。訓練は、枕崎漁港トイレで硫化水素による自殺を図り周囲にガスが拡散したと想定。防護服を着用した救助隊員が傷病者を適切に処置し搬送。病院では2次感染に注意を払いながら医師が処置を行いました。また、地震や津波により大規模災害が発生したとの想定した訓練では、巡視船「せんだい」や海上保安ヘリが出勤するなど、大規模な訓練となりました。



枕崎の2鰹節業者が農林水産大臣賞 ～第18回全国鰹節類品評会

■日本鰹節協会が主催し5年おきに行われる全国鰹節類品評会が9月9日、指宿市山川で開催されました。鹿児島、静岡、高知の3県5産地から仕上げ節や荒節、さば節など選りすぐりの82点が出品され、審査員らは外観や乾燥の度合い、削り節の香りを確かめ、出来を審査。その結果、鹿児島県内の5業者が最高賞の農林水産大臣賞を受賞し、このうち枕崎の2業者が受賞しました。【枕崎の受賞者】「鰹荒本節」前山達郎さん（恵比須町・写真左）「枯割サバ節」立秋水産㈱（旭町、火之神町・写真右）



枕崎のCM「一丸(イチガン)」がグランプリ ～KKBふるさとCM大賞

■県内市町村が作成した30秒CMを出品し競う、KKB鹿児島放送主催による「第7回KKBふるさとCM大賞」の審査会が10月17日、鹿児島市民文化ホールで行われ、本市のCM作品「一丸(イチガン)」が最高賞であるグランプリを獲得しました。12月から来年8月ごろまで同局においてCM150本が放送されます。今回のCMは、きばらん海で打ち上げられた「三尺玉」を題材に、市民一丸となって打ち上げたことを表現。審査委員長の山本晋也監督からも好評をいただきました。この審査会の様子は、11月24日の午前10時から放送される予定です。